

令和2年度主催事業「Hikonist～登山塾～3」

○開催日：令和3年2月7日（日）

○開催場所：英彦山

○参加者数：12名

○事業のねらい

県内の山々での登山活動を通して、登山の知識や技術について登山者同士で交流しながら継続的に講師から学ぶことで、「山を安全に楽しく登山・トレッキングする人（Hikonist）」を養成し、安全な登山の普及を推進することができるようにする。

「コロナ禍における登山知識」

登山前に日本山岳会北九州支部の竹本先生と縄手先生から、コロナ禍において、登山中に気を付けることについて話をいただきました。

[登山中のフィジカルディスタンス]

- ・2メートル以上、余裕のある距離を保つ
- ・1列に並ぶときは、真後ろを避ける

[手指消毒]

- ・水源がない場合は、アルコール消毒を活用する
- ・共有装備を使用した後には消毒を行う



「四王寺の滝コース」

この時期の「四王寺の滝コース」は、積雪があり、アイゼンが必要になるコースです。今回は、積雪はありませんでしたが、浮石（雪解け等で不安定な状態になり、崩れやすくなった岩や石）が多い状態のコースでした。

講師から、「1度に全体重をかけず、石が動かないかどうかを確かめながら歩を進める」「歩幅を小さくする」「石の上に足裏全体で着地する」「蹴り出さずに体を押し上げる」というアドバイスをいただき、安全に登っていくことができました。



「四王寺の滝」

四王寺の滝は凍っていませんでしたが、1月には凍っていたと思われる氷が滝壺にたくさん落ちている状態でした。

目的の滝は凍っておらず残念でしたが、滝までの登山道にある史跡の梵字に触れたり、長い年月をかけてできた苔や木の根に覆われた神秘的な大きな岩を眺めたりすることができました。



○参加者の感想

- ・登山事故がないように安全管理に配慮した十分な見守りありがとうございました。
- ・来年度は、テントの張り方・山メシ・ビバークの知識・技術的な登山演習等の研修を期待しています。
- ・今後、Hikonistの養成が軌道に乗り、自分自身の登山知識も増えることを願っています。

○全体を通して

今年度の登山塾は、3回開催しました。講師と参加者のご協力により、大きな事故や怪我もなく3回の事業を終えることができました。登山塾はHikonistの養成が最大の目的です。日本山岳会北九州支部の竹本先生と縄手先生に資料提供や登山中の演習にご協力いただき、安全登山の知識や技術を身に付けることができました。今後、参加者が、登山塾で身に付けた知識や技術を活かして、登山の楽しさを登山仲間等に広めていただけることを願っています。